

基調講演

1 テーマ 自分の中の『こうあるべき』を捨ててみよう ～仕事も暮らしをもっと楽しくなる～



浜田 敬子氏

BUSINESS INSIDER JAPAN 統括編集長/AERA元編集長
1989年に朝日新聞社に入社。2004年からはAERA副編集長。その後、編集長代理を経て、AERA初の女性編集長に就任。2017年4月より世界17カ国に展開するオンライン経済メディアの日本版統括編集長に就任。民放各局のコメンテーターや、講演なども行う。著書に「働く女子と罪悪感」(集英社)。

2 テーマ 後ろ髪ひかれない生き方していますか？



薄井 シンシア氏

NHK「主婦カツ!」原案「専業主婦が就職するまでにやっておくべき8つのこと」著者
東京外大卒業後、貿易会社に勤務。娘を育てるために専業主婦の道を選ぶ。娘の大学入学と同時に就職活動を開始。アルバイト等を経て、ANAインターコンチネンタルホテル東京営業開発副支配人、シャングリ・ラ ホテル東京勤務。2018年1月に東京2020オリンピックパートナーのホスピタリティ担当に就任。

分科会

A 『女性×ワークスタイル』～私らしく、はたらく～

モデレーター 塚本 薫氏 (株)きらり、コーポレーション 代表取締役

求職者・企業の人材育成・定着を目的に2009年きらり、コーポレーションを設立、行政と連携し働き方・地域雇用企画を運営実施、女性活躍推進・WLB講演、セミナー、多数実績あり。2013年復職したい子育て女性の就労の受け皿として株式会社エージェンツこころ設立。

パネリスト

赤木 由美氏 九州旅客鉄道(株)執行役員 熊本支社長
深川 沙央里氏 (株)クリエイションWEB PLANNING代表
吉田 稀世氏 (有)ミューズプランニング

B 『女性×コミュニティ』～私らしく、つながる～

モデレーター 村上 美香氏 (株)ヒトコト社代表

23歳で民放テレビ局に入社。21年間、月曜～金曜の夕方2時間生放送のキャスターを務める。自身のがん罹患体験から、自身の番組で「子宮頸がん」シリーズを立ち上げ、がんイベントの企画から出演までを行うなど、一人でも多くの人が「生きやすい世の中」になるための情報発信を心がけている。

パネリスト

東山 恵子氏 熊本転入ママの会代表
本田 節氏 郷土の家庭料理ひまわり亭代表
米村 美佑氏 崇城大学3年 SCB放送局所属

C 『女性×イノベーション』～私らしさを、いかす～

モデレーター 小澤 浩子氏 (株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント 本部長

大学卒業後、ソニーに入社。スター・チャンネル代表取締役副社長等を歴任し、様々な会社経営に参画する女性エグゼクティブ。女性活躍推進に向けた講演会を全国各地で実施するなど、自身のライフステージ、転職経験等を交えたトークで多くの女性に意欲を与えている。

パネリスト

瀬口 カ氏 (株)Lib Work代表取締役社長CEO
宮田 幸子氏 (社)スーパーウーマンプロジェクト代表理事
渡邊 賀子氏 (医)祐基会 帯山中央病院理事

プログラム

10:00
}
10:20
開会～オープニング(御船高校書道部パフォーマンス)

10:20
}
11:20
基調講演① 浜田 敬子氏
自分の中の『こうあるべき』を捨ててみよう
～仕事も暮らしをもっと楽しくなる～

11:20
}
12:00
Higo ROCKa AWARD プレゼンテーション

[休憩]

- 女性活躍推進関連の展示などご覧いただけます
- アワード オーディエンス賞への投票をお願いします

13:30
}
14:30
基調講演② 薄井 シンシア氏
後ろ髪ひかれない生き方していますか？

14:45
}
16:15
分科会 A B C ※いずれかにご参加ください
※会場は3階 中会議室です

16:30
}
17:00
Higo ROCKa AWARD 表彰式

17:00
}
17:20
共同宣言～閉会

17:30
}
19:00
後夜祭(交流会)
※参加費4000円(事前に申込みされた方のみ)

※プログラムは予告なく変更となる場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。

女性活躍サミット 2020 Kumamoto Summit of Women 2020

Higo ROCKa

「六花のごとく、自分らしく。」
未来の熊本へ



2020.1.25
熊本城ホール

写真は左から肥後椿、肥後芍薬、肥後朝顔、肥後菊、肥後山茶花、肥後花菖蒲

アンケートのお願い

アンケート用紙にご意見、ご感想をお願いします。

[主催]熊本県/熊本県女性の社会参画加速化会議

[運営]女性活躍サミット2020 Higo ROCKa 運営事務局

熊本
初開催!

女性活躍サミット 2020
Kumamoto Summit of Women 2020



Higo ROCKa

『六花のごとく、自分らしく。』未来の熊本へ

主催者からのご挨拶

熊本県知事 蒲島 郁夫



女性活躍サミット2020 Higo ROCKaにご参加いただき、ありがとうございます。

平成26年に経済界をはじめとする関係機関・団体など産学官の多様なメンバーの連携により「熊本県女性の社会参画加速化会議」が発足しました。この会議において、一昨年から本県における女性活躍の新たな方向性について議論を重ね、約一年間の準備を経て本日のサミット開催に至りました。

このサミットは、企業で働く方や地域活動を行う方、主婦、学生など、立場を越えて多くの人々が集い、共に支え、高め合うための意見交換、発信を行うものです。

女性が自分らしくイキイキと輝き、これまで以上に様々な分野で力を発揮していくことは、一人ひとりの幸せの実現はもとより、熊本の創造的復興と持続的な発展をめざす上でも不可欠です。

本日のサミットを機に、女性の社会参画が一層進み、より良い熊本の未来に繋がることを期待しています。

熊本県女性の社会参画加速化会議 西村まりこ 副会長



力強く、美しく、これからも

新年の幕開けに、誠にめでたく、喜ばしく、「女性活躍サミット2020 Higo ROCKa」が開催されます。ここまでご尽力賜りました多くの皆様方に心より感謝申し上げます。

平成26年8月27日、産学官民の長で構成された「第1回熊本県女性の社会参画加速化会議」が始まりました。女性の力を最大限発揮できる社会づくりを目指した会議に女性代表の一人として参加した私。少子高齢化で社会の担い手不足が待ったなしの状況下、課題解決への期待と同時に、慣習からの意識改革を問われる不安とが混在する出発でした。

「女性活用はもはや経営戦略だ」と産休、育休、テレワーク等、昔に比べれば環境は格段に進化中です。加えて、多様な社会参加のあり方が持続可能な未来に繋がると思いを、その後会議の回を重ねて強く抱くようになりました。

ベクトルを上にはるかな高みを目指し、加えて横に遠い地平線を望み、多様な方々を巻き込んだ熊本モデル構築への新しい一歩が本サミットから始まる事を願っています。

肥後六花とは

肥後六花は、熊本藩の六代藩主・細川重賢公が、家臣の精神修養に園芸を奨励したことに始まったといわれています。

六花に共通する特徴としては、「端正な一重咲きで優美な花芯、清らかな色」であることです。「花連」と称する肥後六花それぞれの保存団体の厳しい規律と武士の誇りのもと、苗と種は、「門外不出」の宝として厳しく守り継がれてきています。

出典：熊本の貴重な宝「肥後六花」（熊本県教育委員会）
http://kyouiku.higo.ed.jp/page/common/binaryWrite_kiji.phtml?d13076&f=s13076_1_20.pdf

Higo ROCKa AWARD

Higo ROCKa 大賞 (1名)

審査委員による総合的な審査により決定します。

審査委員

- 秋岡 廣宣氏 熊本県経営者協会会長
- 藤井 宥貴子氏 くまもと県民交流館パレア館長
- 小澤 浩子氏 株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント テレビジョンネットワーク部門 本部長

Higo ROCKa オーディエンス賞 (1名)

皆さんの投票で決定します。発表を聞いて最も心に響いたチャレンジに投票をお願いします。

投票方法 会場出入口に設置している投票箱へ投票券を投函してください。

Finalist ファイナリスト

no.1 野田 貴美子氏

全国女性消防操法大会 念願の初優勝

女性の参画が少ない防災分野で、消防団の女性団員として、地域住民への啓発や団員の指導、育成に取り組む。地元のチームで全国女性消防操法大会にも出場し、「消防操法」のプロフェッショナルになることを目標に、仕事、家庭とも両立しながら日々厳しい訓練に励んでいる。



no.2 黒崎 麻子氏

子育てや介護、ダブルケアを幸せにできる社会を創りたい!

自身がダブルケアの当事者となったことをきっかけに、ダブルケアの方への支援に取り組む。自らも仕事をしながら、Twitter(くろさき あさこ)での『ダブルケア4コマ漫画』の発信、イラスト展、「ダブルケアカフェ」を実施。電子書籍執筆中。



no.3 永井 香織氏

新しいキャリアへの挑戦 ~やりたい事はいつからでもチャレンジできる~

熊本市内の企業で経理の仕事をしていたが、「人の幸せに貢献できるものづくりに携わりたい」という想いから30代になる頃に一念発起して水俣に移住し、農家に転身。果樹の生産・販売、加工品の開発・販売を行っている。



no.4 井上 ゆみ氏

唯一無二の Amacusa で 唯一無二の“天草ボタン”をつくる

大学進学を機に天草を離れたが、帰省した際に見た崎津集落に「唯一無二の天草」を感じ、天草に帰郷。「唯一無二の天草」を表現すべく服作りを行う中で、天草白磁の強度や美しさに魅了され、天草陶石を使った天草ボタンの製作を開始。ボタンを通して天草の魅力を発信している。



no.5 中村 あゆみ氏

~当たり前前の日常の有難さを ママ達に伝えたい~主婦

「同じ1日なら楽しく」をモットーに手作りみそ巡業や長期休みの子どもの預かり、ママ達が共感できる熊本弁カレンダーを製作している。



no.6 竹下 紀子氏

出来るしこの私の目指す未来

子育て世代と地域の人の交流の場として、熊本地震直後に自宅を開放し、「子ども、地域食堂うち食堂竹ちゃんち」をオープン。地域のボランティアや若いママたちと一緒に料理しながら、地域の親子、多世代間の交流を深め、育児相談など子育て中のママの支援も行っている。

